

ラ フォレ セ ラ ヴィ ー森こそ命ー



La Forêt, C'est la Vie !



大勢の協力により、栽培地にディグット(石堤)を設置しているフルー村の住民

私たちの願い

私は、フルー村の開発委員会で代表をしているサウドゴ・ミシェルと申します。まずはフルー村の住民を代表し、「緑のサヘル」と JICA に対して、昨年からのこの村でプロジェクトを始めて下さったお礼を申し上げたいと思います。

フルー村では、栽培地から家族が 3 ヶ月程度食べられる量の穀物しか収穫することができません。その後は、次の収穫まで常に食料が不足している状態で過ごすことになります。今回のプロジェクトでは、栽培地にディグット(石堤)を設置することになっており、収穫量の向上が期待できます。本来、このディグットの活動に正式に参加している住民は 15 名なのですが、実際の設置時には村の住民が総出で協力し、15 ヶ所の栽培地に石を並べました。

その他にも、堆肥の利用や養蜂、家畜の飼育・販売などの諸活動にも取り組んでいます。また、それぞれの活動を開始するに先立っては、講習会も実施されました。各技術についての専門的な知識を得ることができたのは、私たちにとって大きな収穫でした。

私たちが望んでいるのは、毎年、雨が順調に降り、より良い収穫が得られることです。これからの取り組みによって、この希望が実現することを心から願っています。

フルー村 村落開発委員会 代表
サウドゴ・ミシェル

受賞報告！

緑のサヘル 「国際居住年記念賞」受賞！



このたび「緑のサヘル」は、平成 26 年度「国際居住年記念賞」を受賞いたしました。授与式は 6 月 24 日、東京都内のホテルにおいて催され、賞を主催する「日本住宅協会」の役員の皆様ご列席の中、鈴木会長より当団体事務局長の菅川に表彰状と副賞が手渡されました。

この受賞は、現地の人々の長年にわたる弛まぬ努力と、それを応援して来た多くの皆様のご支援の賜物です。また、この授賞は私ども「緑のサヘル」への励ましであり、今後の活動に対する期待の表れでもあります。スタッフ一同、一層の精進を重ね、これからも現地の方々と共に歩んで行く所存です。

【 国際居住年記念賞とは 】

国連が制定した国際居住年（1987 年）を契機として、「一般社団法人 日本住宅協会」内に設立された「国際居住年記念基金」が、開発途上国等における居住環境問題の改善に貢献した団体に対してその功績を顕彰し、今後の活動を奨励するものです。

【 緑のサヘルの主な表彰・受賞 】

- | | |
|-----------------------|---------------------|
| ・イオン環境財団最優秀団体表彰（1995） | ・地球未来賞クボタ賞（2012） |
| ・国際ソロプチミスト国際奉仕賞（1998） | ・経団連自然保護基金感謝状（2012） |
| ・外務大臣表彰（2001） | ・国際居住年記念賞（2015） |



今年は、雨季入りしてもなかなか雨が降りませんでした。首都ワガドゥグのあたりでは、7月上旬ごろから次第に降雨が見られるようになりましたが、プロジェクトを行なっているバム県では、その時期以降もほとんど雨が降っていません。このため、地域の中心にあるバム湖は渇水状態となり、部分的に湖底が露出しています。

JICA 草の根技術協力事業



ブルドーザーによるブリ掘り下げ作業の様子。
住民も作業を見守っています。

対象3村のうちでは、フルー村のみバム湖に面していません。このため、井戸以外の水源として、村内には「ブリ」と呼ばれるため池があります。雨季の雨を溜め、乾季に利用するための伝統的な技術です。フルー村には大きなブリがありますが、それほど深くないため元々貯水量は不足気味でした。

この事業では、堆肥作りも重要な活動となっていますが、それには大量の水が必要となります。今後は毎年、堆肥の作製量が増えることを鑑み、給水不足を避けるために、ブリの掘り下げを行ないました。

地盤がやや固く、面積も広いため、ブルドーザーを使うことにし、手配や搬送に手間取ったものの6月の後半には作業を開始することが出来ました。業者の方とフルー村の住民がよく話し合った結果、ブリは深さ6mまで掘り下げられ、水汲み作業をしやすくするため底面には緩い傾斜がつけられました。まだ水は溜まっていますが、住民たちの期待は膨らんでいます。

タンポンガ村とヤルカ村では、女性組合が搾油活動に取り組んでいます。今の時期は、現地に自生している「シア」という木の実が採取できるため、シア油（シアバター）の生産が中心です。材料となるシアの実自分たちでも集めますが、周辺村から購入もしています。その範囲は広く、5km四方の村々から買い取っています。



2村では、周辺村からの依頼も含めると、毎日のように搾油作業が行なわれています。

この買取システムは、女性たち自身の宣伝と口コミによって成り立ちました。まず2村の女性たちは、おのおの周辺村に出かけていき、自村に搾油機が入ったことを宣伝し、ついでにシアの実を購入して帰ります。すると、周辺村でその噂が広まり、大勢の方々がシアの実を売りに訪れるようになりました。また、搾油作業の依頼にもやってくるようになりました。周辺村への周知をどのようにしたらよいのか適切なアイディアが浮かばなかったのですが、女性たちの日頃のご近所づきあいで解決できてしまいました。

ブルキナファソから 2



湖岸植林プロジェクト

コンディビト村、クルペレ村、バディノゴ村の3村で、マンゴの植栽が行なわれました。降雨の遅れやバム湖の水不足を考慮すると、予定どおり植栽を行なっているものかどうか迷いましたが、住民から可能であるとの回答を得たため、踏み切ることにしました。

6月中下旬に、各村への苗木配布と植栽が行なわれました。各100本のマンゴが配布され、コンディビト村では1名、クルペレ村では4名、バディノゴ村では4名が、それぞれの植林サイトに植栽を行ないました。

この時期は、穀物の栽培作業が始まっているため、住民たちの関心は栽培地に向けられています。加えて、雨季入りしたにもかかわらず、なかなかまとまった降雨がない状況に、住民たちはそわそわしています。穀物と苗木と、両方に気を使うことになりますが、どちらも上手くいってほしいものです。



マンゴの苗木を植栽するクルペレ村の住民。受け取ると同時に植栽が行なわれました。

チャドから



降り始めは遅かったものの、7月の降雨は順調でした。

昨年と比べると、各地で降雨の開始が遅れています。このため、例年に比べると、穀物の播種に約2週間の遅れが生じています。その一方で、穀物の販売価格は高騰することなく、安定しています。このおかげで、現状では食糧の入手に不安は生じていません。

現地の雨季栽培では、種まきや除草などの作業を適期に行なう必要があります。今年のように種まきが遅れると、栽培面積が小さくなってしまい、結果的に収穫量が減少することになりかねません。

今現在は降雨状況が良くなってきているため、ひと安心しています。ただ、雨季は始まったばかりなので、まだまだ予断を許しません。降り方が悪いと、成育不良になってしまう可能性があります。今後の順調な降雨を願わずにはられません。



降雨が途切れ、立ち枯れてしまったソルガム（モロコシ）
（2000年）

国内活動



今期は6月に「国際居住年記念賞」授与式、7月には毎年恒例となっている「チャリティ・コンサート」がありました。また、昨年に続いて富山県立桜井高校での講演、「アフリカ日比谷フェスティバル」への出展を行ないました。

＜ 東京事務局での主な活動一覧 ＞

5月	19日(火)	「世界食料デー月間」ミーティング	出席	(岡本)
6月	17日(水)	「世界食料デー月間」ミーティング	出席	(菅川)
	24日(水)	「国際居住年記念賞」授与式	出席	(菅川)
7月	5日(日)	チャリティ・コンサート	出展	
		「中丸三千繪 with 鈴木大介&桂米團治」		
	8日(水)	富山県立 桜井高校(2年生 199名)	講演	(菅川)
	11日(土)	アフリカ日比谷フェスティバル (～7/12)	出展	
	14日(火)	「世界食料デー月間」ミーティング	出席	(菅川)

チャリティ・コンサート開催

去る7月5日(日)、毎年恒例となっているチャリティ・コンサートが、大阪府池田市民文化会館にて開催されました。今年は世界的ソプラノ歌手・中丸三千繪さん、鈴木大介さん(ギター)、安達朋博さん(ピアノ)、桂米團治さん(ナビゲーター)がステージに立って下さいました。

中丸さんの歌うオペラや讃美歌、スペイン民謡、また日本の唱歌や童謡の美しさに、観客席はただただ感動。さらに米團治さんとの掛け合いのようなトークにも沸きっぱなしで、本当に素晴らしいコンサートとなりました。終了後には、多くの方々が「とっても楽しかったです」、「素敵なおコンサートをありがとう」と、言って下さいました。

なお、このコンサートは「(財)いけだ市民文化振興財団」、「アフリカの砂漠で木を植えている日本青年を支援する会」、「中西クリニック」の主催、「池田市」、「池田市教育委員会」、「池田市公益活動促進協議会」の後援で開催され、収益の一部が「緑のサヘル」に寄付されることになっています。

中丸さん、米團治さん、関係者の皆さん、お越し下さった皆様、本当にありがとうございました。



幕間に米團治さん(左)から活動についてインタビューを受ける事務局長の菅川(右)。



ロビーではパネル展示、現地の状況や活動の紹介、また民芸品の販売を行ないました。



2016年カレンダー販売開始!!



皆さん、お待たせいたしました! 「緑のサヘル 2016 年オリジナル・カレンダー」の販売開始です!!

世界各国で人々の暮らしを撮り続ける写真家・小松義夫氏と、旅行人・編集長の蔵前仁一氏のご協力で、今年も温かく、ほのぼのとしたカレンダーになりました。

普段は遠いアフリカ。ご自宅に西アフリカの風景を広げ、現地の生活を垣間見たいはいかがでしょうか?

カレンダーを1冊ご購入いただきますと、苗木10本を植えることができます。ぜひカレンダーの購入で国際協力を! 同封のカレンダーチラシまたはメール(緑のサヘル東京事務局宛: agsj_tokyo@sahelgreen.org)にてお申込み下さい。

サイズ: A4 変形(広げた時 A3 変形) 印刷: オールカラー28ページ

価格: 1部 1,200円(税込み)、送料 200円(全国一律・何部でも)

自然の恵み ハケ岳製品を!

長野県ハケ岳山麓に、「ハケ岳中央農業実践大学校」があります。ここでは、営農を志す青年たちが、豊かな緑の中で色々な作物や野菜、乳製品や加工食品作りに、日々汗を流しています。「緑のサヘル」を通じて製品をご注文頂くと、大学校のご厚意によって、売上げの20%が当団体に寄付されます。

宅急代金値上げのため、価格が変更になりました。詳しくは最終ページのセット価格表をご覧ください!



インターン紹介



初めまして、新しいインターン生として活動に参加させていただいている五十嵐敬也です。早稲田大学法学部の国際法のゼミに所属し、アフリカの開発を中心に勉強をしています。

「緑のサヘル」で学んでいることは、とても意義深く、国際協力の道へ一歩踏み出したような気がします。職場もアットホームな環境で、いつも楽しく活動ができています。今後も積極的に学ぶ姿勢を持ち、頑張っていきたいと思います。

ありがとうございました

* 敬称は略させて頂きました。

【 継続会員のみなさま 】

天野洋子／安田喜代美／本多れい子／宮越太郎／小川あい子／林裕之／佐藤京子
柏原竜一／矢野友一郎・正代／半羽勝子／須藤きい／立花美江／山根二郎／松本仁一
小松義夫／井上比奈子／亘友子／福川佐代／吉川千尋／高松千枝子／岡本美智子
菊地博子／手嶋千恵子／町千恵子／佐賀明子／手嶋康

【 ご寄付を頂きました 】

オダユウジ／内田一二三／榎本みつ枝／小川あい子／森田康子／浪川光代
村上和代／佐貫眞木子／瀬戸栄一／瀬戸義子／小池昌子／賀川麻衣
武知ハルミ／木嶋清江／西山鐵之助／小林伸張／勝間朋子／鈴木潤／山本淑子
小笠原弘子／大段紀代子／高瀬光代／納谷周吾／吉川千尋／米多喜久男
住友俊子／太田弘子／丹邦子／梅田暢子／手嶋康／西村豊子
個別教育フォレスト 安多秀司
他 匿名をご希望の方 2名

【 BOOK募金を通じてご寄付を頂きました 】

小笠原弘子／村上和代／飯田三代／北川華子／上野幸子／今榮高子／北野真一郎
他 匿名をご希望の方 6名

【 ハガキ・切手・商品券・図書カードなどをいただきました 】

神野潤子

上記は 2015 年 5 月 1 日から 7 月 31 日までにご支援頂いた方、また、それ以前にご支援頂き、お名前を掲載できなかった方のご芳名であり、8 月 1 日以降にご支援下さいました方については、次号の掲載とさせて頂きました。

協力団体・助成団体

アフリカの砂漠で木を植えている日本青年を支援する会／(独)国際協力機構(JICA)
(公財)毎日新聞東京社会事業団／(公財)イオン環境財団(環境活動助成)
緑の募金(管理団体:(社)国土緑化推進機構)／(公財)国際緑化推進センター
isave(シーブ株)／省エネ住宅ポイント／アフリカ料理 トライブス
(財)農村更生協会 ハヶ岳中央農業実践大学校／(特活)国際協力 NGO センター
(特活)環境アリーナ研究機構／(特活)ハンガー・フリー・ワールド
国際連合食糧農業機関(FAO)／(公社)国際農林業協働協会／(株)グリムス
株式会社プレジャーワークス／gooddo(株)セプテーニ・ベンチャーズ
ソーシャルアクションリング／マチウケル！(株)廻船問屋
かざして募金 ソフトバンク

* 掲載されました *

(公財)愛媛教育会「社会科実力テスト中学校 3 年生」

「緑のサヘル」からお知らせ

グローバルフェスタJAPAN2015 に参加します！

今年も日本最大級の国際協力イベント、「グローバルフェスタ JAPAN」に参加します。このイベントは、より多くの方々に国際協力を身近に感じていただくことを目的に、毎年開催されています。今年から、会場が「日比谷公園」から「お台場」へと変わり、新たな出会いを期待しています。

開催日：2015年10月3日（土）・4日（日）

各日 10:00～17:00

場 所：お台場センタープロムナード
（シンボルプロムナード公園内）

H P：http://www.gfjapan2015.jp



パネルの展示や、民芸品の販売をしています。
ぜひお誘いあわせの上、遊びに来てください！！

【 もくじ 】

- | | |
|-----------------|-----------|
| 1・・・表紙 | 5・・・国内活動 |
| 2・・・受賞報告 | 6・・・事務局より |
| 3・・・ブルキナファソから 1 | 7・・・ありがとう |
| 4・・・ブルキナファソから 2 | 8・・・お知らせ |
| チャドから | |

< スタッフよりひと言 >

● 現地の協力団体から、雨が降り始めた、との連絡がありました。ひとまず、安心しました。（岡本） ● 8月に郷里の盛岡に帰省しましたが、東京と変わらぬ蒸し暑さ！盛岡に限らず、昔の夏はもっと涼しかったですよね？（菅川） ● 戦後70年目の暑い夏。まさか戦争反対！と叫ぶ夏になるとは思いませんでした。ずーと戦後が続きますように。（本所） ● 8月5日はブルキナファソの独立記念日でした。その数日後、殺風景だった「国民広場」の周りに苗木が植樹されました。将来、緑の木陰が人々の憩いの場となりますように...（大谷）

ご贈答品・ご挨拶に
どうぞ

ハケ岳農場の特産品

「ハケ岳中央農業実践大学校」の手作りチーズやアイスクリーム、チーズケーキ、カレーなど、ハケ岳の新鮮な材料と確かな技術から生まれた品々が勢揃いの9セットです。各地への送料を含めた価格は下記の表のとおりです。

大学校のご厚意により、お求めごとに
定価の20%が当会に寄付されます。

【お申し込み方法】

郵便振替用紙に、ご依頼人様とお届け先様のご住所、氏名、電話番号、ご希望セット名と数量をご明記の上、下記までお振込みください。

00120-7-419488「緑のサヘル」

お振り込みから到着まで10日程かかります。

		関東 信越 北陸 中部 南東北	関西 北東北	中国	四国	北海道 九州	沖縄
A	アイス10個	4,258	4,366	4,474	4,582	4,690	5,230
B	アイス20個	6,858	6,966	7,074	7,182	7,290	7,830
C	チーズ	4,042	4,150	4,258	4,366	4,474	5,014
D	アイス / ケーキ2種	4,258	4,366	4,474	4,582	4,690	5,230
E	ムース	5,388	5,496	5,604	5,712	5,820	6,360
F	ケーキ	5,388	5,496	5,604	5,712	5,820	6,360
G	カレー / チーズ	5,242	5,350	5,458	5,566	5,674	6,214
H	ケーキ2種	3,688	3,796	3,904	4,012	4,120	4,660
I	カレー	3,822	3,930	4,038	4,146	4,254	4,794

宅急代金値上げのため、2015年9月より
料金が変わりましたのでご注意ください。

内容の詳細をご希望の方は、事務局まで
ご連絡ください。詳細チラシをお送りいたします。

La Forêt, C'est la Vie !

Vol.63

編集 岡本敏樹 菅川拓也 本所稚佳江 大谷恵美 /印刷 社会福祉法人東京コロニー

発行所 (特活) 緑のサヘル ホームページ: http://sahelgreen.org/ E-mail: agsj_tokyo@sahelgreen.org

〒101-0035 東京都千代田区神田紺屋町 16 番地 NASビル 3F TEL:03-3252-1040 / FAX:03-3252-1041